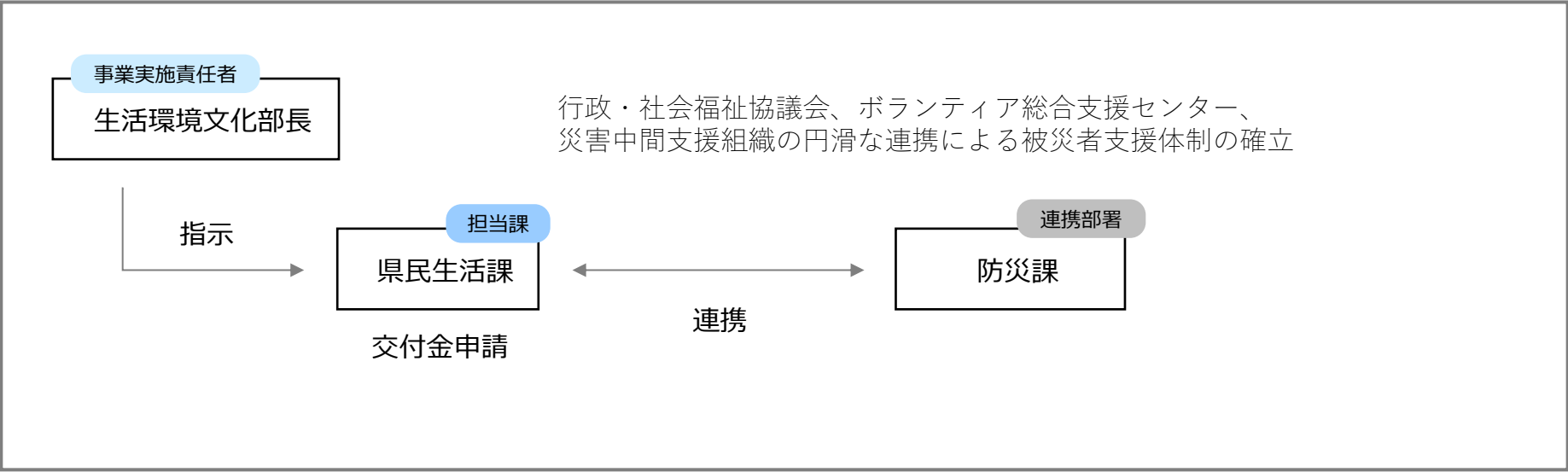


事業概要【災害救援ボランティア連携体制整備支援事業】

自治体名	富山県	人口	994,799人	事業費	3,700千円
事業概要	近年、激甚化・頻発化する災害に対し、地域における災害ボランティア活動に、より迅速かつ効率的に取り組めるよう、災害救援ボランティアセンター（以下、「災害VC」という。）の運営業務のデジタル化の推進や被災者支援連携体制構築に向けて検討・整備を図るもの。				
具体サービス	【災害救援ボランティアセンター運営支援システム】 - 災害ボランティアのオンライン登録による事前受付・活動仮予約・当日受付・活動指示依頼・報告、被災者ニーズの管理など各種情報の自動データベース化、同データベースを活用して帳票自動作成や案件の進捗管理、職員間の迅速なデータ共有を行う。各種情報の見える化、クラウド上での情報共有による業務の省力化の実現 - 平時・災害時の情報提供・共有するための県・市町村間の連絡用掲示板の設定によるスムーズなやり取りができる仕組みづくり、共通のシステムの構築を実現 【災害救援ボランティア特設サイトの設置】 - 一元的に現地の情報を迅速に発信、情報共有により問合せの減少、現場の混乱を最小限に抑え、被災者への迅速でスムーズな対応を実現		【災害救援ボランティア連携体制整備検討会開催】 行政や社協、NPO等が連携し災害VCの円滑な立ち上げ・運営や被災者支援連携体制を構築 <pre>graph TD; A[災害VC 被災者ニーズを調査し フォームに入力] --> C[ニーズ対応状況の管理・一覧化 ボランティア情報の一覧化 活動指示書の作成]; B[ボランティア 活動希望日などを フォームに入力] --> C; C ==> D[適切な情報管理で迅速な活動支援へ]</pre>		
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①県内の参加自治体数 ②災害救援ボランティアコーディネーター養成研修等修了者数		【アウトカム指標（成果指標）】 ①災害VC職員の作業負担の軽減 ②ボランティア等当日受付の所要時間の縮減		

推進体制

■ 庁内の推進体制

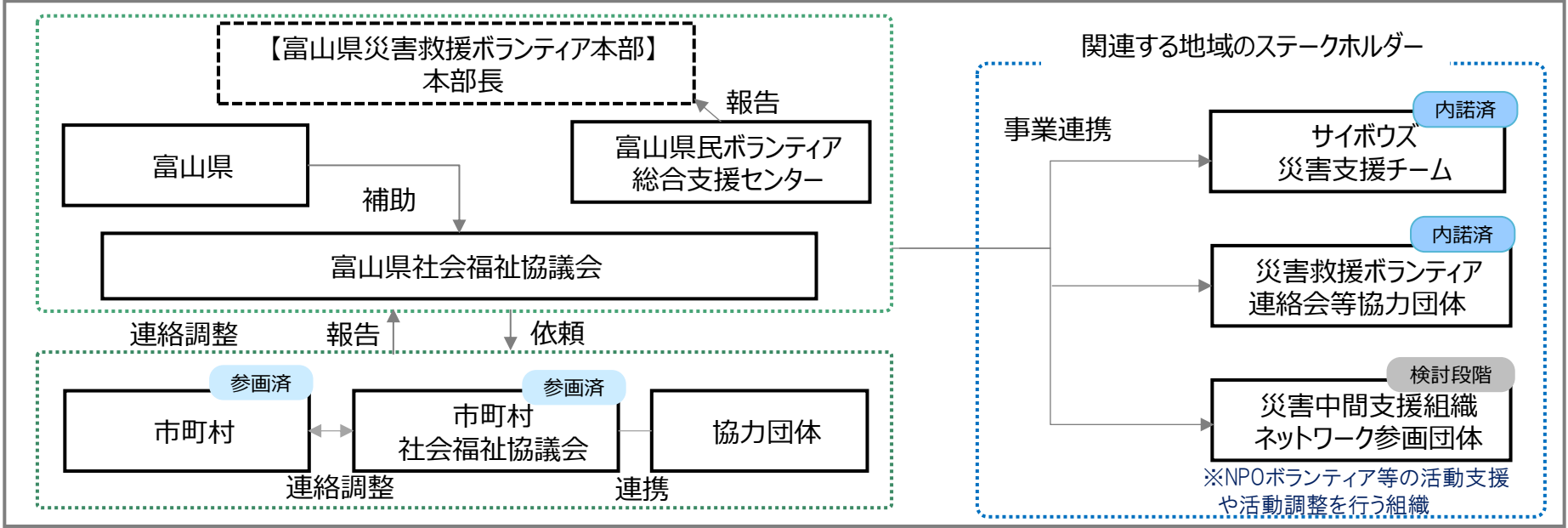


【各課室の役割】

名称	名称	役割
事業実施責任者	生活環境文化部長	・ 事業全体のマネージメント・進捗管理
事業担当課	県民生活課	・ システムの調達、関連部署との調整、業務フローの検討
連携部署	防災課	・ 関連部署との調整、被災者支援体制の庁内とりまとめ

推進体制

■ 事業推進体制



名称	役割
富山県	- 事業計画立案 - 運営支援システム管理者、事業全般の管理 - 訓練・研修開催支援
富山県社会福祉協議会	- 運営支援システム管理者、システム調達 - アプリの作成・構築のための研修開催・訓練 - 応援職員等各種調整
市町村	- アプリの作成・構築のための研修への参加 - 市町村域災害VC開設訓練 - 連携体制構築
市町村社会福祉協議会	- アプリの作成・構築のための研修への参加 - 市町村域災害VC開設訓練 - 連携体制構築

名称	役割
富山県民ボランティア総合支援センター	- 各種調整 - 災害救援ボランティア本部開設訓練
富山県災害救援ボランティア連絡会	- ネットワークへの参画 - 災害救援ボランティア本部開設訓練
災害中間支援組織	- ネットワークへの参画 - 災害救援ボランティア本部開設訓練
サイボウズ 災害支援チームベンダー	- アプリの作成・構築のための研修開催、実装支援 - アプリや帳票の改善に関する技術的な質問などのITサポート

具体的使途（経費内訳）

経費項目	金額（単位：千円）
災害救援ボランティアセンター運営支援アプリライセンス 利用料	72
運営支援アプリ 初期設定費	825
運営支援アプリ外部連携サービス 利用料	994
運営支援アプリ構築IT技術支援サポート 利用料	1,034
特設サイト構築経費	275
（上記経費を実施主体の県社会福祉協議会へ補助10/10）	
連携体制整備検討会開催経費（県事務費）	500
経費合計	3,700